

第3回 県北地域サイクルツーリズム推進協議会 議事概要

1 日時

令和3(2021)年2月19日(金) 10:00~11:30

2 場所

オンラインによるWeb会議
(栃木県庁 本館9階 会議室3)

3 出席者

別紙「出席者名簿」のとおり

4 議事

- (1) モデルルートの決定について
- (2) モデルルートの名称について
- (3) 利用環境の整備について
- (4) 情報発信・広報について
- (5) モデルルートの活用について

5 議事概要および委員の主な意見

議事(1) モデルルートの決定について

- ・事務局から「ゲートウェイ(JR那須塩原駅)からモデルルート(県道矢板那須線 木綿畑交差点)までの区間(約10km)」と「モデルルート(県道矢板那須線 泉交差点)から八方ヶ原(大間々台駐車場)までの区間(約17km)」の2ルートの試走結果を報告し、全延長約144kmとなる県北地域のモデルルートについて協議会で承認された。

○松本氏(小出委員代理)

- ・ゲートウェイとしてJR那須塩原駅からモデルルートへのアクセスルートが1本追加されたが、サイクリストの利用状況等を考慮して、他ルートを追加することを今後検討していく必要があると感じた。
- ・追加された2ルートについては、本線と同様に路面表示や案内看板等の走行環境整備を実施する考えでよいか。

(事務局回答)

- ・追加した2ルートについても本線と同様に走行環境整備を実施する。

○大森（宣）委員

- ・ JR 那須塩原駅からのゲートウェイを追加することによって、県外・海外の方を含め、鉄道や新幹線で来る方がサイクルルートを利用しやすくなるとともに、上級者コースの追加によって初心者から上級者まで多様な方々が利用できることとなり、モデルルートの目的に合致した良いコースになったと思う。
- ・ JR 那須塩原駅からのアクセスルートの追加については、駅の東側にもルートがあった方が良いと思うが、早期整備を考えれば、まず JR 那須塩原駅の西側を整備し、東側は道路の整備状況等を考慮して今後検討すれば良い。

（事務局回答）

- ・ 利用状況、観光客の移動状況等を踏まえて検討していきたい。

○篠原座長

- ・ 追加された上級者コースについて、試走時は上級者しか走破できていないとの話であったが、初心者や中級者でも楽しめる仕組みを検討してほしい。

（事務局回答）

- ・ 今後、矢板市とともに検討を進めていきたい。

議事（2）モデルルートの名称について

- ・ 事務局からモデルルートの名称の投票結果を報告し、投票の結果、栃木県サイクリングルート“ナス1（イチ）”に決定することについて協議会で承認された。

議事（3）利用環境の整備について

- ・ 事務局から利用環境の整備について説明。その後、質疑応答を行った。

○篠原座長

- ・ 県内の道の駅全体で利用環境の整備を行うとのことだが、県北地域に関しては特段無いのか。

（事務局回答）

- ・ 利用環境の整備については、今回のコースから順に整備をしていく。

○篠原座長

- ・ 共通のロゴマーク等の設置について、道の駅の連絡会に国交省も出席し、県とともに動

いてもらいたい。

(工藤氏 (井上委員代理) 回答)

- ・ 県の方と連携、協力して対応していきたい。

(事務局回答)

- ・ 道の駅連絡協議会と協議し、実施について進めていきたい。

○篠原座長

- ・ メンテナンス工具の貸出、管理は道の駅でできると思うが、消耗品の仕入れ・販売を道の駅でやってもらうのは難しいと思う。消耗品の在庫管理および販売を行うような業者やシステムを導入することで栃木県の評価も上がるのではないか。

(高根沢委員回答)

- ・ 参考になる話ができると思うので、今後協議し、サイクリストに喜ばれる利用環境の整備を目指していきたい。

○高根沢委員

- ・ パンク修理等の消耗品について、有料か無料か確認したい。

(事務局回答)

- ・ 消耗品は有料として、道の駅で販売してもらうよう、道の駅とも調整していく考えである。

○高根沢委員

- ・ 消耗品が有料であれば、1 個ではなくある程度の数を揃えて販売することになるので、サイクリストが安心して走れる 1 つの要素となる。

○松本氏 (小出委員代理)

- ・ 利用環境の整備として、道の駅にサイクルラック等を設置するのは大変ありがたい。
- ・ モデルルートから近い道の駅については、以前の走行環境整備の話の中で案内看板等を設置するという話だったが、ルートから離れた道の駅についても案内を標示するのかが確認したい。コースから離れていても情報が伝わるようにしてほしい。

(事務局回答)

- ・ サイクリングマップにて、少し離れた道の駅についても紹介する考えである。

- ・現地の案内等については、実際の利用状況等をみて、必要に応じて設置していく。

(篠原座長補足)

- ・サイクリングマップを配るだけでルートから離れた道の駅に行くわけではない。道の駅に立ち寄ってもらうにはマップ上だけでなく、ルート上に何キロで何の道の駅があるのかということを伝える環境が必要である。

○松本氏（小出委員代理）

- ・那須塩原駅を降りてからの案内など、ルートだけでなくゲートウェイとして那須塩原駅周辺の利用環境の整備を検討しているか確認したい。

(事務局回答)

- ・那須塩原駅周辺については、今後の課題として協議していきたい。

○柿沼（章）委員

- ・サイクリングは1人でもグループでも楽しめるため、サイクルラックは3基程度設置してもらえると、目に付くということも含めて、良いと思う。また、地元の木材を使用することでオリジナリティや地域性が出て良いと思う。

○若杉委員

- ・県北地域の道の駅には既にかかなりの数のサイクルラックが設置されており、使用する木材等、地域の特色を活かしたサイクルラックもある。設置済みのものと全く違うものを整備すると統一性がなくなってしまうため、現在の設置状況を把握した上で設置をしてほしい。

(事務局回答)

- ・各道の駅の設置状況は把握済みであるため、協議を進めていき設置していく考えである。

議事（4）情報発信・広報について

- ・事務局から情報発信・広報について説明。その後、質疑応答を行った。

○高根沢委員

- ・情報発信の仕方は重要だと思う。
- ・ポータルサイトには、季節の情報、交通ルールや注意喚起等を盛り込んでほしい。

(事務局回答)

- ・季節の状況や交通ルール等についても記載するよう検討を進めていきたい。

○大森（宣）委員

- ・ポータルサイトは英語表記も行うとのことだが、サイクルマップについても英語版の作成を検討してほしい。
- ・上級者コースは初心者が行くと危ない等の情報もポータルサイトやサイクルマップに記載した方が良いと思う。

(事務局回答)

- ・サイクルマップの英語版については、今後の検討課題として考えていきたい。

○高橋（政）委員

- ・メンテナンスを自分でできないサイクリスト向けに自転車屋等のメンテナンスができる施設の情報があると、サイクリストは安心でき、お客様が増えていくと考えている。

(事務局回答)

- ・これまでの意見等を反映させながら進めていきたい。

(篠原座長補足)

- ・メンテナンスが自分でできない人でも、道の駅のメンテナンス工具を利用して修理等はできるのか。

(柿沼委員回答)

- ・JR那須塩原駅前のブラーゼンの拠点やJR宇都宮駅前の宮サイクルステーションのような施設であれば見識を持ったスタッフが常駐しているが、道の駅に常駐するのは難しいのが現実である。
- ・出張サービスを行っている販売店もある。那須町や小山市には出張専門のサービスを行っている販売店もいるため、そういった情報も発信した方が良い。
- ・初心者の方が工具を利用して修理するのはハードルが高いと思う。

○篠原座長

- ・一般的な事例として、県や市でホームページを作成していくと知りたい情報が載っていないということがよく起こる。今回のポータルサイトの作成は、事業者と事務局だけでなく、協議会の中からプロジェクトの委員を選定し、初めから意見を入れてもらうのが良いのではないかと。

(事務局回答)

- ・少人数でプロジェクトチームを作成し、進めていきたい。

議事 (5) モデルルートの活用について

- ・県地域振興課、県観光交流課、矢板市商工観光課、NASPO 株式会社、那須高原オールスポーツアソシエーション (NASA) からモデルルートの活用について説明を行った。

○亀田氏 (菅俣委員代理)

- ・令和 3 (2021) 年 5 月 22 日、23 日の 2 日間でサイクルイベント「ぐるとち 2021」を開催予定である。
- ・コースは全 6 コースであり、宿泊コースが 1 コース、日帰りコースが 5 コースである。

○斎藤氏 (矢板市商工観光課)

- ・モデルルートの策定を契機に、ペーパースカイの持つノウハウを活かして、矢板市独自のツアー、商品造成を行う。
- ・タイアップ事業として、令和 3 (2021) 年 5 月 29 日、30 日にペーパースカイ主催のツール・ド・ニッポンを開催予定である。

○川俣氏 (県観光交流課)

- ・サイクルツーリズム推進事業として、サイクル関連の海外インフルエンサーを招請、サイクリングに関する情報発信、インフルエンサーからの評価・提言、フィードバックを行う事業を来年度から実施予定である。
- ・招請者は、SNS で主にサイクリング関連の情報発信をしている台湾人インフルエンサー 1 名を予定している。
- ・招請時期は、往来再開見込みが立っている前提として、10~11 月頃の紅葉時期を想定している。

○若杉委員

- ・JR 那須塩原駅前の事務所におけるライト層向け、コア層向けの事業を行う。
- ・ライト層向け事業としては、レンタサイクル、メカニックによる整備、ヘルメット等の貸出を行う。
- ・コア層向け事業としては、事務所のスペースを利用して、輸行のパッキング・アンパッキング等のサービスを提供していきたい。
- ・全ユーザー向け事業として、シャワールームの貸出、プロ選手によるガイド事業等を提供したい。

○高根沢委員

- ・地域の魅力で新たな那須のファンを獲得するための手段が自転車であり、那須高原ロングライドというメインイベントを開催している。
- ・これからの取組みとして、サイクリングガイド養成講座、ワークライフインテグレーション・ウェルネス起点のビジネスモデル等の企画事業を検討している。

－以 上－

第3回 県北地域サイクルツーリズム推進協議会 出席者名簿

(○:座長)

(敬称略・座長以外は種別内五十音順/建制順)

	種別	所属・職	氏名	備考
1	学識者	跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 准教授	○篠原 靖	
2		宇都宮大学地域デザイン科学部 教授	大森 宣暁	
3	観光事業者	(公社)栃木県観光物産協会 会長	新井 俊一	欠席
4		(株)栃木プロジェクトプロ 代表取締役会長 那須高原オールスポーツアソシエーション 会長	高根沢 武一	
5		(株)JTB宇都宮支店 観光開発プロデューサー	高橋 政稔	
6	有識者	ライブガーデンピチステレ マネージャー	雨谷 千紗子	欠席
7		宇都宮ブリッツェン セネラルマネージャー サイクルスポーツマネージメント(株) 代表取締役社長	柿沼 章	
8		自転車活用推進アドバイザー	高坂 美歩	欠席
9		ラジオパーソナリティ/リポーター	棚橋 麻衣	欠席
10		那須プレーゼン/NASPO(株) 代表取締役	若杉 厚仁	
11	交通事業者	東日本旅客鉄道(株)大宮支社企画室企画調整課 課長	佃 晋太郎	
12	通過市町	大田原市教育部 部長	大森 忠夫	代理 スポーツ振興課 主幹 羽石 剛
13		矢板市総合政策部 部長	高橋 弘一	代理 総合政策課 主査 佐藤 晶昭
14		那須塩原市企画部 部長	小出 浩美	代理 企画政策課 課長 松本 仁一
15		さくら市総合政策部 部長	高山 登	代理 総合政策課 課長 高野 洋
16		塩谷町企画調整課 課長	柿沼 肇	
17		那須町教育委員会生涯学習課 課長	高藤 建	
18	道路管理者	国土交通省関東地方整備局宇都宮国道事務所 所長	井上 啓	代理 管理第二課 建設専門官 工藤 晃利
19		栃木県矢板土木事務所 所長	野尻 芳昭	代理 次長兼企画調査部長 古橋 明
20		栃木県大田原土木事務所 所長	平山 浩之	代理 次長兼企画調査部長 高山 誠
21	交通管理者	栃木県県警本部交通規制課 課長	吉田 学	代理 交通規制課 係長 岩瀬 光広
22		栃木県那須塩原警察署 署長	和氣 安男	代理 交通総務課 交通規制係長 栗崎 崇彦
23		栃木県大田原警察署 署長	谷野 太	欠席
24		栃木県さくら警察署 署長	添田 敦男	代理 交通課 総務係長 橋本 幸治
25		栃木県矢板警察署 署長	高原 儀人	欠席
26	行政	栃木県総合政策部地域振興課 課長	菅俣 宗良	代理 地域づくり支援担当 課長補佐 亀田 厚郎
27		栃木県産業労働観光部観光交流課 課長	鱒淵 繁義	
28		栃木県県土整備部交通政策課 課長	谷 英夫	